

- ・巻頭コラム(杉浦 良)
- ・お知らせ(柳澤監督映画会)
- ・スタッフ雑感
- ・太陽と緑の会からの助成
- ・ご協力者名簿／編集後記

NPO法人 太陽と緑の会

かわら版

202号/2023 ▶ Since 1984

「R5年7月31日の鳴潮に想う」

杉浦 良

「世界に一つだけの花。リリースから20年を過ぎた今も多くの人に親しまれている名曲だ。だが、何事も素直に受け止められない、へそ曲がりのせいで、少々引っかかっていた部分がある▼難癖と承知の上でいえば、花屋の店先という舞台。花屋さんに並んでいる花は生産農家や流通過程を経ながら選ばれた花なのだから当然美しい、そもそも自分は花屋さんにたどり着けているのだろうか・・・」

徳島新聞コラム「鳴潮」のそんな言葉が目にとまりました。その後の展開は新聞をご覧ください。そんな目線がジャーナリズムに関わる方たちには外せません。

今年4月23日、当会に来ていただいたモヨ・チルドレン・センターの新代表・佐藤南帆さんとの会話を、思い出しました。



モヨ・チルドレン・センター代表・佐藤南帆さん

「・・・学生時代から海外の支援活動に興味があって、色々な活動先を尋ねた・・・名前の通った大きな団体や小さな団体まで様々です・・・現地女性のための職業訓練機関で100パーセントの就職率を誇るというN G Oに興味を持ちました。2年でそんなに成果がでるトレーニングとは？・・・そんな思いで関わってみると・・・数字としては確かにそうだが・・・可能性のある人のみを受け入れていることが分かった・・・可能性の低い人は状況がどうであれ排除される・・・寄付を集めるために大々的なキャンペーンを張り、沢山のスタッフとともに現地入りするが、資金が少なくなるとあっという間に引き上げる・・・現地の人たちのためになっているか？・・・そんな疑問が次々湧いてくる・・・最後に辿り着いたのがケニアのティカにあるモヨ・チルドレン・センター・・・創立者である松下照美さんの話を学生時代に聞いたが、実際に現地入りしてみると・・・松下さんの話と現実には違和感がなかった・・・だから信用できた・・・」

「・・・よくぞモヨを引き継ぐ決心をしましたね・・・」

そんな私の言葉の後に、若き想いを語ってくれました。

看護師でありながら、ケニアで別の仕事をし、モヨの新代表も務める佐藤さん。

1994年、松下さんは事故で失ったご主人の遺族年金を頼りに、ストリートチルドレンの支援活動を始めました。1999年ケニア政府の認可を受けてモヨ・チルドレン・センターを設立。自分の食い扶持は自分で賄うことで始める海外支援。嫌ならすぐに撤退もできるが、海外支援活動をすることで生活が成り立たないから、おのずと地に足が付き、腹も据わる。地方のスラムで強盗に会い、盗まれたバッグが近くの小学校に戻された話は、その証と言えるでしょう。給料が保証された海外支援員と、身銭を切って乗り込む照美さんでは、その覚悟と迫力に大きな差があるでしょう。ただうら若き佐藤さんに同じ覚悟と迫力は望外で、今後は佐藤さんなりのスタンスで取り組む以外に道はないでしょう。

コラム「鳴潮」は「・・・そんなネガティブな見方を思い出したきっかけは、ロスフラワーという言葉だ。ロスフラワーとは、せっかく咲いたのに、規格外であったり買い手がつかなくなったりして破棄されてしまう花のこと。もったいない・・・」と続きます。

せっかくこの世に生まれたのに、そこがケニアのスラムで、ハンディまで背負うことになった子どもたちが、食べ物より安いシンナーを吸うことで空腹を紛らわせ、脳まで侵されて若死にする現実に、松下照美さんは立ち止まりました。

「私の手の届く範囲で・・・大したことはできないけど・・・ボチボチやって行く・・・年者いても2、3人の子どもと一緒にやれたらいい・・・私が死んでモヨが無くなることであっても・・・それはそれで仕方のないこと・・・」そんな言葉を聞いた覚えがあります。そんな姿勢が若き佐藤さんに届き、それを良しとする若者に引き継がれました。

花屋さんに並んでいる選ばれし花のほかに、ロスフラワーと呼ばれる花に注目できる少数派にも、幸いが訪れますように。

# お知らせ

## 柳澤監督映画会(第4回)

8月27日(日) 藍住町総合文化ホールにて「甘えることは許されない」(1975年制作 110分)の上映会を行いました。午前の部、午後の部の2回上映で、延べ100を超える方がご覧になりました。柳澤監督の奥様からのカンパでスタッフ・メンバーの弁当も用意できました。きらりのお茶付き弁当でメンバー達も大満足。遅れてきたYさんに「映画を見るか弁当を食べるか？」の質問に「弁当です！」と素早い返事。無事に映画会も終わりました。

これも小西さんはじめ藍住町総合文化ホールの関係者の方々、広報宣伝をしていただいた徳島映画センターの福永さんや宮崎和尚、服部和尚など皆さんのお陰です。有難うございました。

## おせんべい頂きました

徳島大学のベンチャー企業が、人口増加や気候変動にともなう食料減少で、獲得が難しくなるタンパク質を、養殖コオロギで補えないか？と取り組みました。その国産コオロギパウダー配合の米菓をいただきました。「軽やか塩ふわせん」と「香ばしゴマふわせん」の2種類です。メンバーにそれぞれ一袋ずつ配ると大喜び。

当会作業所メンバーだけでなく、地域活動支援センターの「ほっとハウス」「やまもも」「すみれ会支援センター」「せんば作業所」「あわっこ」、就労支援B型事業所の「ハートランドあっぷる」「きのこハウス」「いたのあせび」「アトリエひまわり」「アスカ」にも40袋ずつおすそ分けしました。

他の作業所・事業所まではとても手が回りませんが、お許してください。

## 桃、サクランボ ポカリスウェット

大阪在住のFさんから粉末のポカリスウェットが届きました。平成元年度にJYVA(日本青年奉仕協会)から1年間ボランティアとして参加し、4年間スタッフとしても活動して下さいました。格別に暑かった今年の夏、熱中症対策として大活躍でした。有難うございました。

山形のEさんから立派なサクランボが届きました。平成10年に1年間ボランティアとして参加してくれました。当時太陽と緑の会創立者近藤文雄が逝去、アジアボランティアとしてバングラディシュからのトゥヒンも受け入れ、会としても激動と多忙な時期でした。気が付けば四半世紀、一家の大黒柱として日々過ごしているだろうと慮りながら、感謝の念で一杯です。

当会が火事に見舞われた平成17年に1年間ボランティアとして参加してくれたOさんが、今年も美味しい桃を送ってくれました。最近地域協力隊という言葉をよく聞きますが、何十年前も前、JYVAの1年間ボランティア365は、先駆的で意義深いものでした。そんなOさんが福島に戻り、東日本大震災も乗り越え、元気で暮らしています。感謝です。

「・・・自分の育った地域とは違う環境で、1年間社会奉仕活動に参加することは、日本の青年を逞しく健全に育てる大義がある・・・」

そんな言葉を、今は亡き創立者の末次さんから、聞いた覚えがあります。

## スタッフ雑感

太陽と緑の会の活動に参加させていただき、もうすぐ5年半になります。私が活動し始めた頃から比べると、大きな変化に気が付きます。

例えば当時のAさんは、声を掛けても無視され、作業をお願いすると取り掛かるのは10分後とそんな様子でした。

今では、色々な作業を任すことができ、売れた商品の確認を続けていると、売り上げを意識し「〇〇が売れた」と報告に来てくれたり、私の抜けているところをカバーしてくれたり、共に喜び合うことが出来る良き相棒であり、弟のような存在となりました。

商品の値下げ作業では、迅速だけど雑なAさんが商品を集め、時間は掛かるけれど確実なBさんが確認作業をする。ペアを組むことにより、作業がスムーズに進むようになりました。一人ひとりの長所を活かし、それぞれが出来ることを一生懸命することを目指し日々活動しています。

当会では、昼食のお味噌汁を「料理を作ることは生きていく上で必要な事」といろいろなメンバーさんが作っています。最初は包丁を使うのも危なく、お昼に間に合うかと心配しましたが、今では新館で作業しているメンバーさん全員が手際よく作れるようになりました。

両親が他界され晩御飯はいつもスー

パーのお弁当のAさん、カレー、チャーハン、野菜炒め等を家で作ったと嬉しい報告もありました。

日曜日の昼食もメンバーさんがカレーを作っています。肉、野菜を切る準備も指示するのではなく、メンバーさんで話し合い決めるようにしています。食材の在庫管理も、スタッフがするのではなくメンバーさんに任せられるようにし、自らが意識して残量が少なくなると伝えられるようになってきました。

「支援するのではなく、自分の足で立つ」杉浦代表の言葉です。この意味の大切さを想い、見失わず、イキイキと取り組める作業を提案し、メンバーさんが少しでも豊かな生活が送れるように、微力ですがその一助となれるように日々過ごしていきたいと思えます。

(パート職員:山下久美子)



竹條さんが、浄土真宗のお寺（尊光寺等）の皆さんからの食料品・調味料等を、フードロス活動で持ち込んで下さいました。食料品・調味料等は、一人暮らしのメンバー達や、リサイクル作業所・月の宮作業所・月の宮生活棟で活用させて頂いています。4年間で24回もの持続的なご支援、本当に有難いことです。

# 太陽と緑の会からの助成 (第58回)

第58回太陽と緑の会福祉事業団からの助成  
徳島市資源ごみ回収事業に係る奨励金（古紙、鉄屑、空き缶1キロに対し3円、廃食油1キロに対して20円）令和3年度後期分（令和4年度前期配分）7万2000円が当会の太陽と緑の会福祉事業団に支給されました。

これを各分野で非営利活動に取り組んでおられる以下の団体の皆様に配分させて頂くことに致しました。（敬称略）

## ①障害者福祉活動への助成

NPO法人 ほっとハウス（地域活動支援センターの運営など）（徳島市）、及び社会福祉法人ハートランド（弁当・スイーツの製造販売・喫茶等の就労継続支援B型事業）（徳島市）へ  
玄米90キロ寄贈 精米代700円

社会福祉法人ありのまま舎（宮城県仙台市）  
（東日本大震災により被災された宮城県沿岸部の在宅重度難病者支援活動に対して）5000円

## ②社会福祉活動への助成

大阪釜ヶ崎出会いの家（野宿を余儀なくされた高齢日雇労働者の支援活動）5000円

大阪釜ヶ崎希望の家（野宿を余儀なくされた高齢日雇労働者の支援活動）5000円

徳島いのちの希望（社会福祉法人徳島県自殺予防協会）（電話による相談活動）5000円

徳島市社会福祉協議会 5000円

NPO法人クレール（貧困家庭支援活動）へ  
玄米120キロ寄贈 精米代1000円

フードバンクとくしま（社会的支援を必要とする人たちに対して、品質に問題が無いのに廃棄されている食品を譲り受け、無料でお届けする事業を行い、地域で支え合う社会の実現をめざす活動）  
へ玄米135キロ寄贈 精米代900円

フードバンクとくしま、及びNPO法人クレールへ  
粳米240キロ寄贈  
モミスリ・精米代3400円

## ③国際協力活動への助成

ペンシャワール会（アフガニスタン等での医療事業、水源確保事業、農業計画）1万円  
モヨチルドレンセンターを支える会（ケニアにおけるストリート・チルドレンの支援活動）1万4614円

## ④環境保全活動への助成

NPO法人 新町川を守る会（花ロードプロジェクト）5000円

## ⑤その他の活動への助成

NPO法人日本NPOセンター（NPOの社会的基盤の強化を図る活動）1万円

支援金振込手数料1066円

繰越320円

太陽と緑の会福祉事業団の助成活動は平成5年度よりスタートしました。各分野で非営利活動に取り組んでおられる個人・団体の皆様に年2回、28年間で累計1616万0656円の助成を行ってきました。



# 当会の活動をご支援下さった皆様

§ 2023年5月15日～2023年8月31日 § (紙面の都合上、敬称は略させていただきます)

## ご寄付を下された皆様

真鍋、川端、勝岡、匿名、匿名、匿名、久次米、佐藤、塚山、中井医院、友成  
(郵便振替口座)中村、安江

## 品物を持って来て下さった皆様(郵送含む)

○徳島市○桑原、小山、近藤、松下、立道、大松、久米、福本、花岡、藤森、近藤、端野、矢川、檉原、西条、松田、鈴木、杉本、後藤、川人、坂本、栗野、坂東、小名木、二宮、キシ、田中、原田、喜田、佐藤、橋本、鳥居、大久保、朝田、勝山、眞木、立川、福田、長浜、小川、蓑手、細井、吉野、森本、三宅、賀好、平山、池田、峯田、樋口、柴山、一安、東條、大塚、ウメハラ、永栄、永松、武田、笹岡、粟飯原、村内、山松、山上、田所、西村、河野、高橋、板東、名倉、米田、加島、カワノ、北野、峯、ヤマシタ、江川、和田、美馬、女性グループ すいーぷ、奥山、栗谷、森、多田、高源、岡田、林、森野、花岡、谷川、石山、大西、松井、野口、長岡、松本、河野、大岩、栗谷、正木、松村、大角、明ホームプラン、小西、吉岡、河野、勝山、岡、平尾、ツボ、山西、前田、高橋、笹賀、中川、若林、的場、真鍋、鈴江、箕村、梅原、福永、加藤、杉浦、三村、渡邊、木下、笹盛、石川、荒井、丸岡、ミマ、長野、鹿山、日下、廣瀬、下条、松田、原、織田、いのちのさと、湯浅、棚次、保、地紙、竹林、多田、宮本、折野、星合、川上、以西、美馬、宮本、野崎、杉野、湯浅、東、村田、岡部、大坂、村上、蟻井、丁野、森、杉内、森下、井上、竹尾、大岩、近藤、西森、広岡、山下、公益社団法人 徳島県環境技術センター、水田、東口、吉岡、坂本、地紙、中村、三橋、布川、峯、荒井、宮内、橋本、トミナガ、平土、岡部、笠井、小西、松田、佐々木、西岡、赤川、梅原、松本、丸岡、荒川、四宮、宮城、田河、井上、三浦、山本、下山、西○石井町○中野、角元、重井、長地、大石、寒川、山本、林、三宅、木村、高橋、上倉○阿南市○家神、松内、上田、佐倉、上原、小濱、佐藤、橋本、堀田○北島町○わき、多田、佐野、藤榮、檉葉、大塚○上板町○Frost、安岡、廣澤、大館、安永、世戸○吉野川市○石田、阿部、麻植、北浦、松浦、笹本、橋本、鈴田、川原、もりた、山脇、日出、寒川、西園寺○小松島市○藤野、伊川、寒川、数藤、千田、岩本、阿部、木村、地蔵寺、丸山、小畠、新田○鳴門市○綾野、渡辺、安芸、濱、田中、柳本、山本、板東、山田、福山、東田、新口、竹内○藍住町○十河、三好、川口、西谷、浅川、久保、槇納、二宮、志尊知、奥尾、中藤、武市、ヒロセ、亀井、梶本○神山町○畔永、河野、松村、藤川○佐那河内村○松尾○美馬市○樋口、加藤○松茂町○森本、丸中、岩本○阿波市○石井、大木○板野町○藤井、瀧下、マスダ○勝浦町○上野○兵庫県○太田○東京都○木村、井上、三木○山形県○遠藤○大阪府○吉岡○愛知県○松浦○香川県○松村○埼玉県○本田、亀倉○愛媛県○浜田○奈良県○平田○福岡県○永峰○大分県○上原○福島県○小野

## 品物を引き取りにお伺いさせて頂いた皆様

○徳島市○藤田、長田、伊藤、中村、稲村、岡久、広岡、礎、西條、吉田、東條、米津、穴吹コミュニティ、三木、石川、美谷、松田、藤永、宮越、丸山、大櫛内科、みずほ保育園、新川、大塚、村松、斉藤、奥村、穴吹ハウジング 西上 板東、小川、福井、矢田、松本、市川、長野、中元、横田、大北、ライフリビング 松友、安藤、クレール 原田、山富、中尾、ファミリーマート、園田、昭和児童館、川原、山口、三浦、檜、上村、鴨川、須本、後藤、松浦、幸泉、戎、出口、猪森、新開、滝、山田、上野、市原、庄野、米沢、林、横山、植田、増田、藤本、加村、佐川、船越、鴨川、日浦、毛利、大西、桑村、佐野、土肥、坂野、村崎、上原、大和、高橋、佐藤、橋本、山本、井関、松下、岩野、藤原、西岡、井上、多田、多谷、井口、住友、林、不動コミュニティセンター、青江、三宅、山口、吉岡、宇治製薬、石塚、桑田、市野、四国大学ボランティア支援室、エルダリーガーデン、美馬、出野、あさ、梶田、岡田、藤井、真鍋、大沢、小倉、浮津、森、佐川、久龍、大櫛、武知、米津、長野、横山、中田、川崎、阿波銀住友生命ビル管理室、日浦、廣瀬、川原、

池永、栄寿司、松田、魚井、平岡、中川、山ノ井、勝岡、野口、小松、折口、加納、宮崎、樋川、鳥羽、久次米、工藤、中津、住友、谷田、渡部、河原、仁木、青木、池本、岡本、岸、庄野、藤田、赤川、森崎、長江、久保、山本、中川、野々瀬、佐藤、大櫛内科、坂東、杉の子保育園、武田、徳元、多田、上野、斉藤○鳴門市○中岸、宝来、久龍、小林、せんだ、坂田、仲谷、米田、井川、林、斉藤、橋本、宇津○石井町○三木、松本、おおさか屋三河、久米、関本、香川、鈴木○吉野川市○藤原、吉川○小松島市○吉田、姫田、立石、木下歯科医院○藍住町○井上、吉田、秦、廣田、本浄、秦、三木、阿部、西根○北島町○大井、南條○上板町○飯田

いつも当会の活動にご支援ご協力頂き、ありがとうございます。品物を持って来て下さった皆様の中には、「何回も来て、書いているので」「名前は結構ですから」と、お名前を書かずに帰られた方も多数おられます。頂いた品物は大切に活用させていただきます。リユース・リサイクル可能なものがございましたら、ぜひお電話下さい。

いつも「フードロスをなくすために」とまだ食べられる食材を持って来て下さる竹條様(浄土真宗のお寺(尊光寺等)の皆様を代表して)をはじめ、お米、サツマイモ、スイカ、梨、きゅうりなどのお野菜、自家製のお漬物、果物、お菓子、飲み物等を差し入れて下さった皆様も本当に有難うございました。

※本誌へのお名前の掲載を希望されない場合は「匿名希望」とご記入頂ければ幸いです。



ラッキョ漬け。小林さんから頂きました

きゅうりのお漬けもの。吉田さんから頂きました

当会の活動を会員として、長年ご支援下さっているHさんご夫妻から、今年も手作りのブルーベリージャムを頂きました。ご主人が栽培されているブルーベリーを、朝摘んでジャムにされているとのこと。手間暇かけて作られた貴重なものを、本当にありがとうございました。

## 編集後記～徳島の暮らし

近所のガソリンスタンドで、1リットル当たりのガソリン代(レギュラー)が一時 180 円目前まで上がりました。徳島は四国四県の中では比較的安い方ですが…。

車が日常の足になっている徳島では「ガソリン代が高いから車に乗るのは控えよう」という選択が難しいです。JRもバスも減便・廃止が進み、JR以外の鉄道や路面電車もないので、車がなければ通勤、通院や保育園への送迎もままならない現実があります。

障がい者の方が一般就労を目指す際にも通勤手段がネックになっています。早朝の出勤や夜間の退勤、郊外の工場・現場への通勤や現地集合など、最低でも原付くらいは乗れないと通勤が困難なケースも多く、保護者の方が毎日職場まで送迎せざるを得ないこともあります。

太陽と緑の会はJR徳島線鮎喰駅(トイレのない無人駅。その代わり列車(気動車)の中にトイレが設置)まで徒歩 15 分。比較的恵まれた場所にありますが、本数は少なく、朝のラッシュ時でも1時間に1～2本です。今年になって運賃も大幅に値上げされました(徳島駅までは 260 円から 330 円へ約 27%アップ)。

### NPO法人 太陽と緑の会

私たちは、「人も物も活かされる街づくり」をテーマに、ハンディのあるなしに関わらず「地域の中でその人がその人の足で立っていけること」を目指し、様々な方々(市民、ボランティア、行政)の支えを頂きながら土、日を含めた日常活動を行っています。

これは、日本の次世代型ソーシャルアクションモデルになると考えています。このような活動のあり方により、徳島の将来や日本の未来が、幸多く豊かであることを願っております。

交通の便の良い東京で暮らしていると「車が日常の足」という暮らしをイメージすることは難しいかもしれません。

私自身、徳島に来る前は、徒歩 10 分圏内にJR駅、私鉄駅、スーパー、コンビニ、病院、郵便局、都市銀行、小中学校、書店、映画館があり、JRは朝のラッシュ時は上りも下りも 2～3 分に1本(10 両編成で車内はすし詰め)、終電は午前1時、駅からはバス路線が 35 本くらい出ている街に暮らしていました。

集合住宅暮らしで駐車場はなく、近隣の月極駐車場の賃料は3万から5万円、自動車は経済的な余裕がなければ持てない「ぜいたく品」でした。「徳島で暮らす」というご縁がなかったら、運転免許を取得することもなかったでしょう。

東京から徳島の暮らしはイメージしにくい、徳島から東京の暮らしもイメージしにくいです。実際に暮らしてみて分かること、気付くこともたくさんあります。徳島の暮らしのことは徳島で暮らしている人が決めたらよいのでは、と思いますが、実際は、東京に暮らしている人が徳島の暮らしのことも決めたりしています。(文責・小山)

### 発行：NPO法人 太陽と緑の会

〒779-3120 徳島市国府町南岩延 107-1

TEL・FAX 088-642-1054

代表理事 杉浦 良 編集 小山 隆太郎

ご協力者名簿作成担当メンバー 岡田

宛名シール添付担当メンバー 堀

製本・発送作業担当メンバー 岡田

年会費：正会員 1 万円 (総会議決権)

準会員 1,000 円 (機関誌発送のみ)

郵便振替口座

01620-8-44703

加入者名：特定非営利活動法人太陽と緑の会